

ラトビア国際写真サマースクール 「写真の町」東川町・派遣作家オーディション 参加者募集



*写真は、2016年のISSPの様子。

「写真の町」東川町とラトビア国際写真サマースクール（ISSP）との連携事業として、学びと国境を越えた写真芸術の出会いの場となる同スクールへ「写真の町」東川町が若手写真家1名を派遣します。

派遣作家の決定に際し、20点以上の作品で構成されるポートフォリオ（テーマは自由）による一次審査、一次審査で選考された2～5名の面接による最終審査のオーディションを行います。

選考された方は、東川町からの推薦によるサマースクールへの参加、期間中実施されるワークショップ参加費、食費、宿泊費、航空券は東川町が負担いたします。※現地では自己負担が伴う企画があります。

派遣作家は、東川町国際写真フェスティバル2020での写真展も行っていただきます。

「写真の町」東川町の派遣作家として、ISSPで自身の写真制作のステップアップのきっかけとしていただけるこの機会に、ぜひご応募ください。

※ISSPは、ラトビアと諸外国の写真家のための教育、ネットワーク基盤として、若い写真家に質の高い特別な教育の機会を与え、国境を越えた写真芸術に関する意見交換を推奨しています。2006年の創設以来、毎年国際写真サマースクールを開催し、数多くの展覧会開催および出版を行っています。またラトビア国内外における写真教育・交流プロジェクトを開始し、25か国以上から集まった活気ある若い写真家グループによるメンバーで運営されています。

- ISSP2019会期 2019年7月12日～20日※全期間参加が原則です。
- ISSP2019の講師とワークショップ内容は現在調整中です。
東川町からの派遣が決まれば、6つのクラスの中から希望するクラスを選択できます。
※クラス定員があるため、希望のクラスに参加できない場合はご了承ください。

講師・ワークショップ内容等は決まり次第ISSPのホームページでアップされます。
詳しくは下記をご確認ください。

<http://issp.lv/en/education/summer-school/2019/about>

【応募締切と審査について】

- 応募締切 **2019年2月25日（月）必着**
- 一次審査（3月上旬） ポートフォリオ審査を行い、最終審査にエントリーされる2～5名を決定。
※一次審査終了後、東川町から参加者全員に結果を連絡いたします。
- 最終審査（3月21日（木・祝）） 審査員3名による面接審査を行います。（東京）
※最終審査エントリー作家決定後に審査時間・場所をお知らせします。
- 主催 「写真の町」東川町・東川町写真の町実行委員会

■応募参加費 無料

- ・応募参加費は無料ですが、作品の製作費（プリント含む）、輸送費等本企画に係る諸経費、最終審査にかかる交通費、滞在費は参加者の負担となります。

■応募資格

- ・40歳未満の方。
- ・英語での理解および自己紹介ができる方。
- ・年齢、国籍、プロ、アマを問いません。
- ・現在テーマをもって撮影されている方、または、これからテーマをもって撮影しようと思っている方。
- ・最終審査に参加できる方。
- ・審査の結果、選ばれた場合に写真ワークショップに参加できる方。
- ・主催団体関係者は応募できません。

■応募用紙・作品

- ・応募用紙に必要事項を記載し、作品とあわせて以下住所までお送りください。
- ・応募作品については、（原則 A4 サイズ以上全紙サイズ程度まで）を郵送で20点以上、応募用紙と併せて送付してください。形式は問いません。（ブック形式か、ファイルされた形式が好ましいです）
- ・過去に各種コンテストなどで入賞あるいは入選したことのない、オリジナル作品に限ります。また、現在他のコンテストなどに応募し、まだ結果が判明していない作品は応募できません。
- ・著作権、肖像権などを侵害する作品は応募できません。万一、第三者と紛争が生じた場合は、応募者ご自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

■応募作品の返送

審査終了後、応募作品は宅急便の着払い（本人払）にて後日返却いたします。宛先不明等により主催者に返送されてしまった作品については、2019年5月末日までにご連絡いただけない場合、主催者が廃棄いたします。また、応募作品の返却が不要の方は、応募申込時に「返却不要」とご指定ください。この場合は、主催者が応募作品を廃棄いたします。



■審査員

上野 修（写真評論家）/菊田樹子（キュレーター）/吉里演子（東川町文化ギャラリー学芸員）

■一次審査（3月上旬）

ポートフォリオ審査を行い最終審査にエントリーされる2～5名を選考。

■最終審査（3月21日（木・祝））

3名の審査員による面接審査を行います。

■派遣作家

最終審査により1名が東川町推薦でサマースクールに参加できます。

期間中実施される、ワークショップ参加費、食費、宿泊費、航空券（居住地の最寄の空港からラトビアまで）は東川町が負担いたします。（ワークショップ中の制作費用については、自己負担にて制作いただきます。）

■派遣後は東川町にレポート提出のほか、2020年に開催する東川町国際写真フェスティバルにおいて、写真展を行っていただきます。

■ラトビアへの派遣の詳細については、派遣決定後、東川町担当より詳しく説明を行います。

〈お申込み・お問い合わせ先〉

〒071-1423 北海道上川郡東川町東町1丁目19-8

東川町写真の町課 写真の町推進室 / 写真の町東川町文化ギャラリー(担当：吉里)

TEL：0166-82-2111（内線591） FAX：0166-82-4704

E-mail：photo@town.higashikawa.lg.jp

